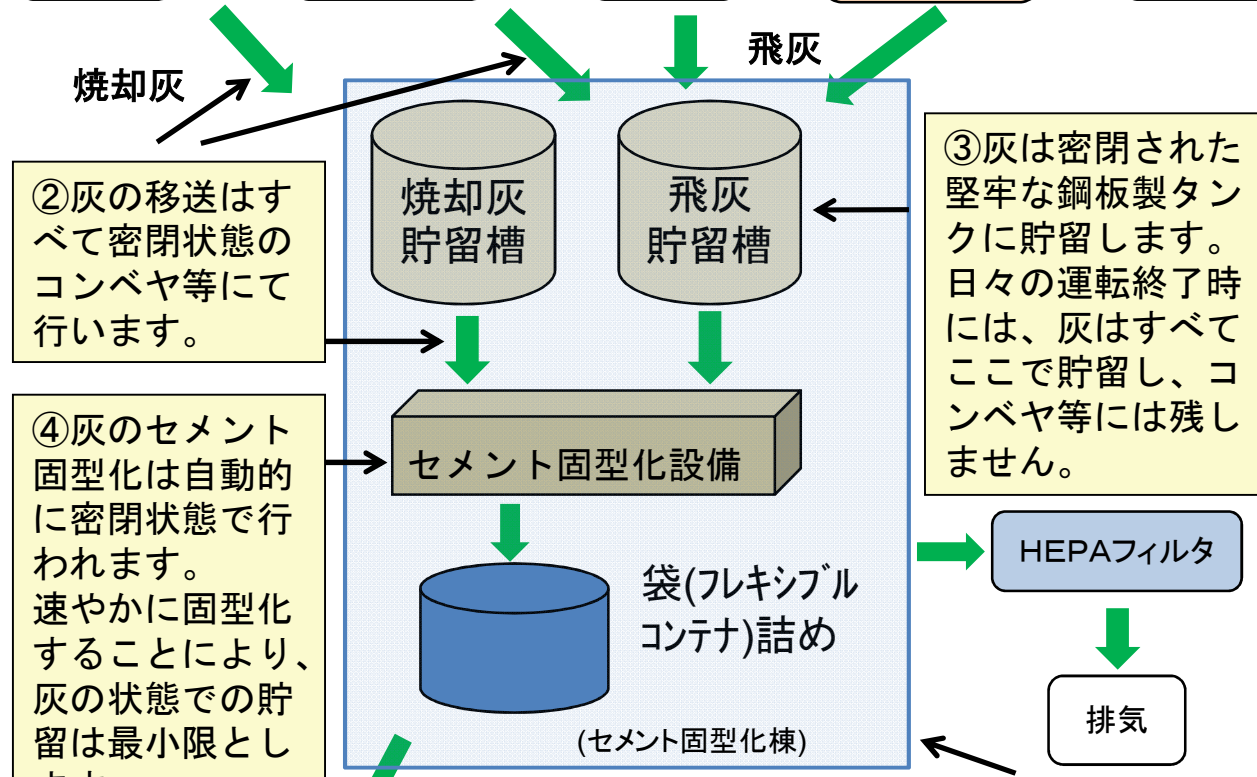
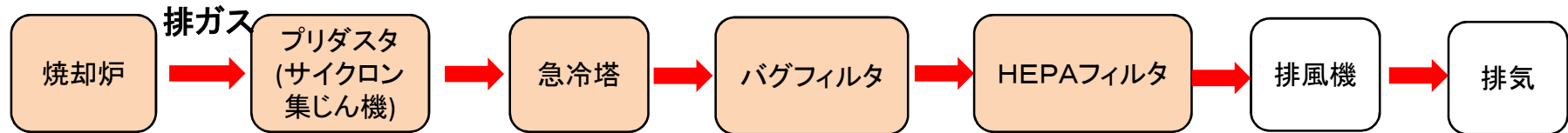


焼却灰・飛灰の飛散防止について

① 焼却灰・飛灰は焼却炉～セメント固型化まで、すべて、密閉状態で処理されます。



一時保管場所へ

⑤ セメント固型化棟では、環境集じん機により、棟内の空気を吸引し、HEPAフィルタを通して排気します。万一、室内に灰が飛散しても、室外には出ません。

地震対応

- ・ 設備は建物より更に厳しい耐震基準で設計しています。
- ・ 灰の貯留槽は建物とは別の自立した架台で支えられており、建物被害の影響を直接受けません。
- ・ 最近の大地震においても廃棄物焼却施設の同様の設備が破損して灰が飛散した例は報告されていません。

台風などのあらかじめ予想される自然災害への対応

- ・ あらかじめできるだけ灰をセメント固型化することにより、万一の場合の飛散を防止します。